

卒業演習(西洋史1)－Ⅱ

科目ナンバリング SEM-426
選択必修 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

古代・中世・ルネサンスに関する古典的な著作ないし最近の研究書を取りあげ、その読解と発表、討論を通じて、歴史研究の力を高める。

使用する著作は各時代につき4～7冊。受講生は2つの時代から各1冊、計2冊を選び、1冊を前半と後半に分けて発表する。よって発表の機会は計4回となる。発表が当たっていない者は、必ず質問または意見を述べること。

取り上げる予定の著作は以下の通り(MELICないし研究室で借りるか、自分で購入すること)

古代:「戦争の起源」「アテネ 最期の輝き」「アルシノエ2世」「通商国家カルタゴ」「ガリヤヤからローマへ」
「新約聖書の誕生」「ローマ帝国の崩壊」

中世:「カール大帝」「ハーメルンの笛吹き男」「ビザンツ 幻影の帝国」「中世イタリア商人の世界」「都市の創造力」
「旅する人びと」

ルネサンス:「12世紀のルネサンス」「ルネサンス都市フィレンツェ」「ルネサンス再考」「ヴェネツィア」

2. 授業の到達目標

テキストを正確に読み取り、適切に要約できること

自分なりの論点を設定して解釈をまとめ、発表ができること

以上を通して、日本語の総合的な運用能力を高めること

3. 成績評価の方法および基準

規定された回数の発表を全部行うこと

全体討論で積極的に質問や意見を出すこと

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

自分が担当する発表をきちんと準備すること

6. その他履修上の注意事項

授業中一度も発言しなかった者は欠席扱いとする

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 【第1回】 | 夏休みの読書報告
発表の分担と日程の確認・発表の技術指導 |
| 【第2回】 | 第1回発表(1) |
| 【第3回】 | 第1回発表(2) |
| 【第4回】 | 第1回発表(3) |
| 【第5回】 | 第2回発表(1) |
| 【第6回】 | 第2回発表(2) |
| 【第7回】 | 第2回発表(3) |
| 【第8回】 | 第1～2回発表予備日・中間総括 |
| 【第9回】 | 第3回発表(1) |
| 【第10回】 | 第3回発表(2) |
| 【第11回】 | 第3回発表(3) |
| 【第12回】 | 第4回発表(1) |
| 【第13回】 | 第4回発表(2) |
| 【第14回】 | 第4回発表(3) |
| 【第15回】 | 第3～4回発表予備日・総括討論 |